

学校給食調理所の共同調理所化について

学校給食調理においては、人員、施設設備、非常時対応等様々な課題がある中、持続的かつ安全・安心な給食提供体制を構築するため、令和8年度及び令和9年度の2か年で単独調理校の共同調理所化を推進することとしており、令和8年度の状況及び令和9年度の計画について、次のとおり報告する。

1 給食施設（令和8年4月1日現在）

単独調理所 27施設（提供校28校）
共同調理所 17施設（受配校17校）
給食センター 1施設（受配校13校）

2 給食調理指導員・調理員の配置状況（各年度4月1日現在） ※給食センターを除く。

区分	年度	配置基準	実配置	欠員
給食調理指導員 (フルタイム)	R7	80人	67人	△13人
	R8	76人	71人	△5人
給食調理員 (パートタイム)	R7	172人	165人	△7人
	R8	167人	155人	△12人
合計	R7	252人	232人	△20人
	R8	243人	226人	△17人

1日当たりの総勤務 時間	R7	1,476時間	1,318時間	△158時間
	R8	1,420時間	1,346時間	△74時間

3 実施年度及び対象校

年度	調理校	受配校
R8	愛宕東小学校	愛宕小学校
R9	永山南小学校	新富小学校
	大有小学校	北鎮小学校

4 今後の実施計画

今後の共同調理所化については、小中学校の適正配置による統廃合の進捗状況を踏まえ個別に検討する。